Vol.2 2020.6
「一宮川流域」に関する情報発信

千葉県 茂原市 一宮町 睦沢町 長生村 長柄町 長南町

一宮川流域通信

千葉県 一宮川改修事務所
茂原市 茂原 1102-1
TEL 0475-26-3703
FAX 0475-26-3706

1．第2回 一宮川流域減災対策会議を開催しました

第2回会議を令和2年5月28日に開催し、**浸水被害メカニズムの検証**、**今後の事業スケジュール**、**県・流域市町村がそれぞれ行う浸水対策（減災対策）**について、**関係機関の合意**を得ました。

なお、複数メディアが傍聴し、テレビや新聞等に取り上げられました。

「一宮川流域減災対策会議」は流域が一丸となって浸水対策に取り組むため、県及び流域の6市町村長を構成員とし、令和２年１月２９日に設置しました。

令和2年3月31日に第1回会議を開催し、中流域において実施予定の対策メニューに関する河川整備計画の変更素案について、関係機関の合意を得ました。

第2回 一宮川流域減災対策会議の状況
（WEB会議にて開催）

2．令和元年10月豪雨による浸水被害メカニズムの検証について

降雨による氾濫は、**外水（河川から溢れた水）氾濫**と**内水（地域から河川に排水しきれずに溜まる水）氾濫**の**いずれか、または、その両方により発生**します。その**氾濫の程度**と、**氾濫した地域での家屋等の資産が多いか少ないか**、により**浸水被害の大小**が決まります。

特徴の異なる、下流域、中流域、上流域ごとに、検証した結果は以下のとおりです。

この**浸水被害メカニズムを踏まえ**、**河川整備及び内水対策、土地利用施策等が連携した浸水対策**を実施することにより、**今次水害と同規模の降雨**に対して、**家屋及び主要施設の浸水被害ゼロ**を目指します。

	1．下流域 （河口～瑞沢川合流点）	2．中流域 （瑞沢川合流点～三途川合流点）	3．上流域 （三途川合流点より上流）
外水氾濫	流域平均の6時間最大雨量は過去最大であり、洪水量が大きかったが、河道拡幅等により洪水処理能力が向上しており、不足はない。	中上流域平均の3時間最大雨量は過去最大であり、洪水量が大きく、既設調節池等により洪水処理能力は向上していたが、十分ではなかった。 また、第二調節池の増設は掘削工事まで至っておらず、治水効果発現が間に合わなかった。	上流域の3時間最大雨量は過去最大であり、外水リスクは極めて大きかったことに加え、河川改修は行われておらず、洪水処理能力が十分ではなかったため、外水氾濫が生じた。
内水氾濫	地形は平坦かつ地盤沈下によりやや内水排水しにくいが、下流域の雨量は大きくなかったため、内水処理能力に不足はない。	平坦な地形かつ地盤沈下により内水処理能力が十分ではない中流域にかなり降雨量があり、また、河川水位の上昇等により内水排除できなくなり、 内水氾濫が生じた。	基本的に掘り込み河川で内水排除しやすいが、それをはるかに上回る降雨であったため、内水処理能力が十分ではなく、低地部全域にわたって内水氾濫が生じた。
浸水被害	外水・内水氾濫が生じなかったため、浸水被害は見られなかった。	氾濫エリアにおいて市街化が進んでいたため、甚大な浸水被害となった。	氾濫エリアにおいて住宅が点在していたため、多くの浸水被害が生じた。

4．流域市町村が実施する浸水対策について

県の河川事業と連携し、**流域市町村は以下の浸水対策を実施します。**（具体的には今後検討）

（第２回一宮川流域減災対策会議資料抜粋）

市町村名	次期出水期までの取組	今後の取組					
		内水対策	貯留浸透対策	土地利用規制・誘導	避難誘導	水害リスク情報周知	その他
茂原市	・水防体制の強化 ・準用河川（梅田川）の堆積土砂撤去 ・指定避難場所の見直し	・早野排水機場の整備 ・内水対策の計画策定（排水施設の整備等）	・各家庭における雨水浸透桝、雨水貯留槽の設置を促進（補助金） ・田んぼ・ため池による貯水機能の活用	・水害地域の土地利用政策についての検討	・地域防災計画の見直し ・防災無線のデジタル化 ・防災無線戸別受信機の貸与	・令和2年5月に更新したハザードマップの周知	・総合計画、国土強靭化計画への防災・減災方針の記載
一宮町	・国土交通省へポンプ車等の手配を協議 ・ポンプ車メーカーの視察を予定	・今年度より一宮町中央ポンプ場の大規模改修に着手	・新築においては雨水の宅内浸透処理の依頼	・河川沿いの住まい方について、国に方針を出すよう要望	・更新予定のハザードマップを基にした避難計画を検討	・令和元年12月公表の洪水浸水想定区域図を元にハザードマップ作成	・近隣町村と国土強靭化計画を策定中
睦沢町	・想定浸水区域内の既存施設の状況確認（点検等を含む）	・一宮川水系洪水浸水想定区域の見直しを踏まえた内水対策の検討 ・湛水防除施設の老朽化に伴う更新	・瑞沢川及び埴生川合流点付近へ調節池整備のための促進支援	－	・自主防災組織を中心に各地区で避難訓練を引き続き実施 ・町防災基本条例に基づき各世帯で避難方法等についての意識高揚を図る	・R3年度にハザードマップ更新予定（H30年度更新済み）	・４町１村による国土強靭化計画の策定中 ・瑞沢川及び埴生川合流点付近の調節池整備を位置付け
長生村	・令和元年12月公表の洪水浸水想定区域図を元に洪水ハザードマップ作成【作成済】	・内水氾濫防止のための水位監視体制の充実（監視カメラの設置検討）			・更新したハザードマップに基づく避難計画を検討	・令和元年12月公表の洪水浸水想定区域図を元に洪水ハザードマップを作成【作成済】（再掲）	
長柄町	・管理者に対して要望活動 ・計画づくりへの調査等協力	・台風による降雨情報による水門の開閉依頼（農家組合）	・遊休農地等を活用した貯留施設の検討、提案	・下流域に配慮した流出抑制に努めた開発指導	・今回の水害を踏まえた避難誘導等の避難計画等の見直しを実施	・ハザードマップ作成に併せて土砂警戒区域を追加	・国土強靭化計画への位置づけ ・マイ・タイムライン普及促進
長南町	・ハザードマップ含む長南町総合防災マップをR2.4.1毎戸に配布 ・専用アプリによる町の防災情報を発信（ヤフー㈱との災害協定）	―	・農業用ため池の貯留機能の確保(蔵持ダム・山内ダム・米満堰) ・農地(耕作放棄地など)の貯水活用の推進 ・下小野田地区保全協議会:田んぼダム	・建て替え時浸水区域外への居住誘導	・地域防災計画の見直し ・自主防災組織設立の促進	・水位計の増設を管理者へ要望し、避難情報に活用	―

5．事業説明会のご案内について

一宮川中流域で実施する事業にあたって、近隣住民の皆様のご理解ご協力をいただくため、**令和2年7月から地区ごとに事業説明会を開催**し、**工事内容や施工方法などについてご説明**します。（それぞれの工事箇所は裏ページをご覧ください）

なお、**事業説明会の具体的な日程や会場**については、別途、**回覧板や一宮川改修事務所HP等でご案内**させていただきます。

住民の皆様におかれましては、大変ご多忙のところ誠に恐縮ですが、**事業説明会にご参加いただきますようお願いいたします**。

6．次号の一宮川流域通信について

次号（vol.3）の一宮川流域通信は、**令和２年8月頃**に以下をお知らせする予定です。

なお、一宮川流域通信は、一宮川改修事務所ＨＰ（下記ＱＲコードまたはインターネットにて検索）に掲載、各市町村役場にて配布しています。

（１） 事業説明会の開催結果
（２） 一宮川第二調節池の増設工事 特集　　など

ＱＲコード

インターネットで検索

一宮川改修事務所 検索

クリック！

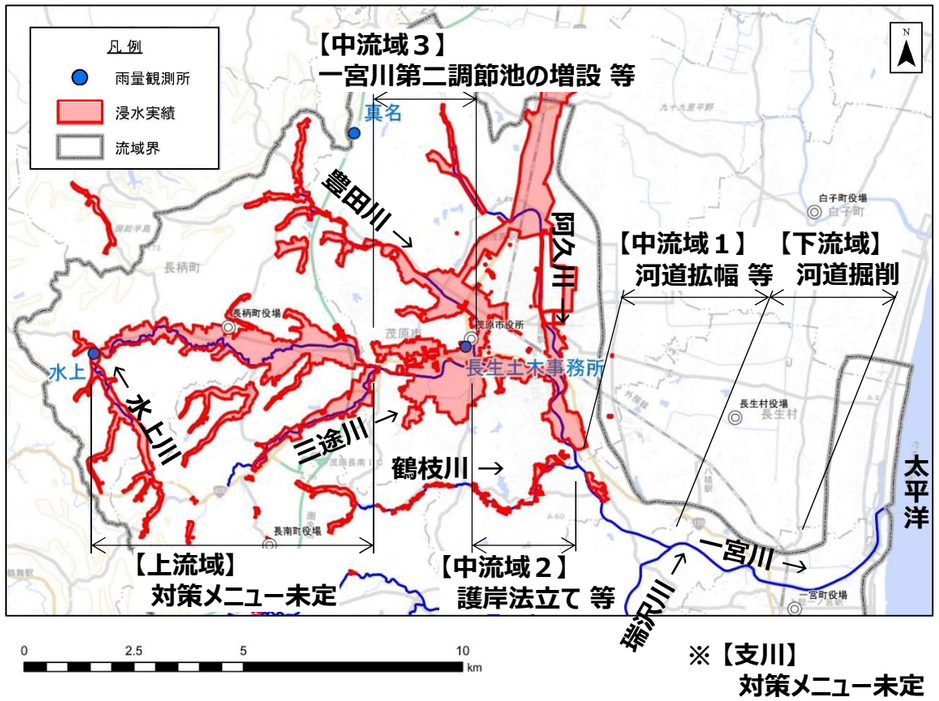
千葉県 一宮川改修事務所
茂原市 茂原 1102-1
（長生合同庁舎4階）
TEL 0475-26-3703
FAX 0475-26-3706

3．千葉県が実施する浸水対策及び今後のスケジュールについて

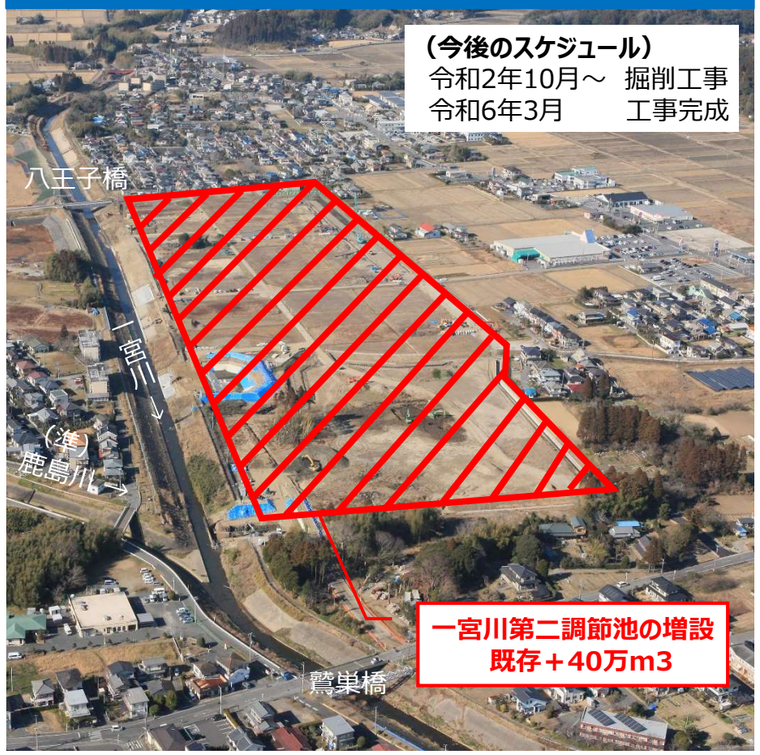
■ **県では、一宮川中下流域における対策を令和6年度末迄に、一宮川上流域及び支川における対策を令和11年度末迄に実施します。**

※ 下図は、整備イメージをフリーハンドで図化したものであり、位置や寸法、形状は正確ではなく、具体の設計のうえ決定します。

事業箇所図



中流域３（豊田川合流点～三途川合流点）



中流域２（鶴枝川合流点～豊田川合流点）

上流域（三途川合流点から上流）・支川

（今後のスケジュール）

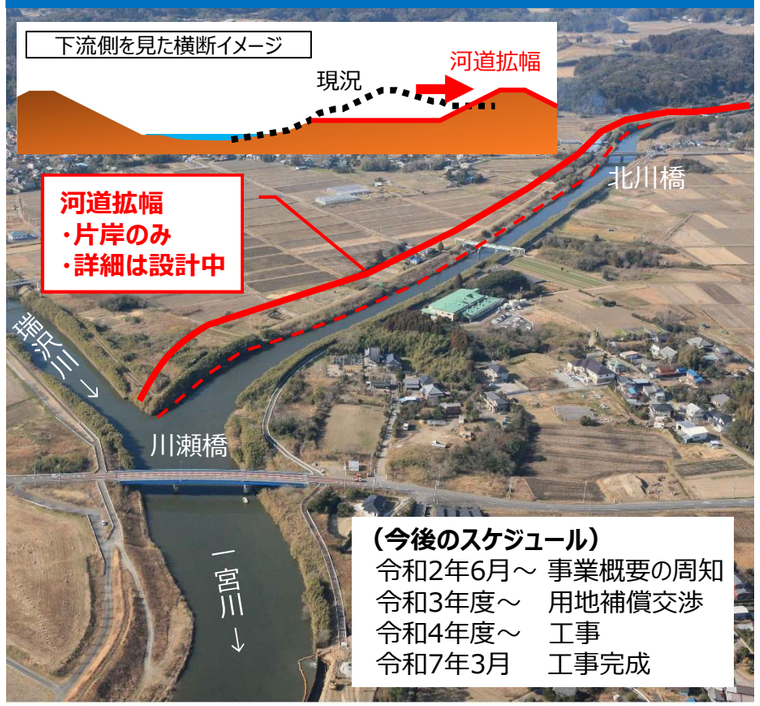
これまで、河川整備計画に浸水対策が位置付けられていなかった**上流域・支川**については、「**一宮川上流域・支川における浸水対策検討会**」により、**河川整備と内水対策、土地利用施策等が連携した浸水対策案を検討**し、**令和2年12月末までに浸水対策案をとりまとめます**。

そのうえで、**河川整備計画に浸水対策を位置付ける**とともに、**一日も早い事業化を目指します**。

（一宮川上流域・支川における浸水対策検討会 委員） ○：座長

東京工業大学 名誉教授 石川 忠晴
○ 東京大学 教授 加藤 孝明
国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 水防災システム研究官
国土交通省 関東地方整備局 河川部 地域河川課長
千葉県 県土整備部 河川整備課長
千葉県 県土整備部 河川環境課長
千葉県 県土整備部 都市計画課長
千葉県 県土整備部 建築指導課長
千葉県 長生土木事務所長
千葉県 一宮川改修事務所長
茂原市 副市長
長柄町 副町長
長南町 建設環境課長

中流域１（瑞沢川合流点～鶴枝川合流点）



下流域（河口～瑞沢川合流点）